



【TOPICS】

- ポリテックビジョン開催報告（北海道ブロック／近畿・四国ブロック）・・・ 1
- 第50回技能五輪全国大会報告・・・ 3
- 若手のホープ・・・ 4

【ポリテックビジョン開催報告 北海道ブロック】

第10回 北海道ポリテックビジョン

去る平成25年2月21日（金）、22日（土）に、『若者よ、技能をみがき、明日にはばたけ』をメインテーマとして、「第10回北海道ポリテックビジョン」が開催されました。

2日間にわたり、記念講演、学生、教職員による研究発表、地元企業による展示、小学生向けのものづくり体験教室等が行われ、約1,300名のお客様をお迎えすることができました。

記念講演では北海道大学大学院農学研究院・教授 野口 伸氏を講師に招き「未来を拓くロボット農業に向けたものづくり」をテーマに講演いただきました。農業従事者の高齢化や後継者不足などの人的問題やTPP交渉参加による農産物の自由化など多くの難問を背景にGPSを利用した無人トラクターなどの農業ロボットの活躍が期待されています。講演では北海道の地域特性に適した農業ロボットをスライドや動画でわかりやすく解説し、研究の最前線を紹介していただきました。

学生の展示・発表では北海道内の職業能力開発施設の学生の作品や当校専門課程2年生、応用課程2年生による「総合制作実習」「開発課題」の作品の展示を行い、テーマごとのショートプレゼンテーション形式で成果の発表を行いました。

教員等講演発表では教育に係る関係者による講演発表を行いました。講演は4テーマにわたり技術分野や指導法での実践事例の紹介など、日頃の研究成果を発表しました。

ものづくり体験教室では近隣の小学生を中心に多くの子どもたちの参加がありました。完成した製品で楽しそうに遊んでいた姿が印象的でした。

地域企業展では小樽市銭函工業協同組合を中心とした地域企業や団体のPRの場として多数の出展をしていただきました。



(北海道職業能力開発大学校 安井 雄祐)

【ポリテックビジョン開催報告 四国ブロック】

四国ブロックポリテックビジョン 2013

四国ブロックにおけるポリテックビジョンの取組みとしては、2回に分けて開催しています。その取り組みを簡単に紹介させていただきます。

1回目は、秋頃に“ものづくりの素晴らしさ、面白さ”を発信すべく、技術紹介・ものづくり体験教室等を主な内容としたイベント（ものづくりフェスタ）を、ブロック内の能力開発施設協力の下、四国能開大、高知校を会場として実施しました。両校とも天候に恵まれ、昨年度より来場者が増加しました。

2回目は、平成25年2月23日（土）、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスを会場として、「四国ブロックポリテックビジョン 2013 ものづくり研究発表会」を四国能開大と高知校の共同で開催しました。

本発表会は、記念講演、研究成果発表、研究成果物の展示から構成されています。

記念講演として「世界から見直された「日本のモノづくり」に学ぶ」と題し、PSI コンサルティング、代表 堀内厚氏を講師として招聘し、「JITのモノづくり」を通じて、改善のDNAがなぜ継承、発展していくのか？その神髄は何か？また、業種を問わずその思想を吸収、展開していこうとする人々が後をたたないのは何故か？について改善例を交えて、講演して頂きました。

また、応用課程における開発課題や専門課程における総合制作実習に関する研究成果、共同研究における研究成果、基盤整備センターにおける職業能力開発に関する研究成果の発表を行いました。展示会場では開発課題、総合制作実習の製作物を中心に展示を行い、来賓の方、企業の方、各施設の代表の方に製作物を審査して頂き、特に優秀と認められる製作物については表彰を行いました。

優勝した製作グループの開発チームの総合リーダーのガッツポーズと満面の笑みはとても好印象でした。就職先企業での今後の活躍を期待したいと思います。



(四国職業能力開発大学校 鳥谷部 太)

【長野技能五輪大会 (第50回技能五輪全国大会) 報告】

長野技能五輪大会の報告 —IT ネットワークシステム管理—

長野技能五輪が平成24年10月26日(金)から29日(月)の4日間で、長野県松本市と諏訪市の13会場で開催されました。この大会は、様々な職種に対して、満23歳以下の技術・技能者のスキルレベルを競うもので、全国から1,097人の選手が参加し、全40職種の競技で行われました。本大会での各職種の優勝者には、平成25年7月にドイツのライプツィヒで行われる技能五輪国際大会への参加資格が与えられるため、参加者には例年以上に気合の入った大会となりました。このうち、筆者が競技補佐員として参加した「IT ネットワーク施工管理」職種は、諏訪市体育館で実施されました。本職種の参加選手は、企業および学校からの総勢12名でした。

「IT ネットワークシステム管理」職種は、インターネットに接続されたサーバシステムを含む企業内ネットワークシステムの設計・構築・運用管理を競うもので、競技では、信頼性の高いコンピュータシステム構築技術・OSおよびWeb・メールサーバなどのアプリケーションのインストールとソフトウェアチューニング技術・ネットワーク構築技術を課題として行います。参加者は、1日目が競技時間6時間・2日目が競技時間3時間の計2つの課題に取り組みました。

競技結果としては、企業から参加者が圧倒的な強さを見せて、トヨタ自動車(株)の西出拓矢さんが優勝し、国際大会への参加資格を与えられました。学生選手も検討しましたが、今回の大会では奮いませんでした。来年度の大会では頑張ってもらいたいです。

次回の大会は、千葉県を中心に平成25年11月22日(金)～25日(月)に行われます。ぜひ一度見学をなさってみてはどうでしょうか。



競技会場



競技風景

(長野県工科短期大学校 太田 隆博)

【実践研のホープ】

開放的な情報交換と学生への還元



新潟職業能力開発短期大学校
蓬莱 晃司

今年度から新潟職業能力開発短期大学校で電気エネルギー制御科を担当しております。10年間雇用能力開発促進センターで勤務した後に初めての短大赴任ですので、学生への接し方・指導方法・総合制作実習のテーマ選定等まだまだわからないことだらけです。毎年の実践教育研究発表会では様々な先生方が日頃研究なさっている専門分野の発表会とあって、実際に発表会場に足を運んで多くの先生方と交流を深めることができました。私のように初めて短大に赴任するものにとってはこのような場は非常にありがたく思っております。本研究会を通じて施設内で決して閉鎖的にならず、いろいろな情報を交換することで今後の学生指導に幅広く還元できると考えております。

編集後記

今回は、2013年春号として、ポリテックビジョン開催報告を始め、技能五輪全国大会報告を掲載致しました。また、今回で2回目を迎える「実践研のホープ」では、新潟短大の蓬莱先生に掲載していただきました。蓬莱先生は、私と同期という事もあり、ご活躍に刺激を受けております。次号は、2013実践教育研究発表会 関東大会特集の報告を中心に掲載予定です。

WEBニュース編集事務局では、皆様からの各地の取り組みに関する情報をお待ちしております。記事半ページ程度、写真2枚程度を添付していただき、以下のメールアドレスへ直接、もしくは編集事務局まで封書にてお送りください。また、こちらからも記事のご寄稿をお願いする場合があります。ご協力をお願いします。

この時期は、異動時期でもあります。勤務先、メールアドレスの変更は、分かり次第、実践教育訓練研究協会事務局までメールまたはFAXにてお知らせください。



発行責任者：久保 紘
発行：(社)実践教育訓練研究協会事務局
〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-36-203
TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652
<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: jissen@nifty.com

編集責任者：刈部 貴文
編集事務局：京都職業能力開発短期大学校
〒624-0912 京都府舞鶴市上安 1922
TEL 0773-75-7632
<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: jissen@nifty.com

広報委員会 Web Jissen News 編集部門：小坂 大吾・鳥谷部 太・永野 秀浩・刈部 貴文
広報委員会 Home Page 編集部門：安井 雄祐・水渡 博幸・新島 泰宏・太田 隆博
広報委員会 委員長：有田浩之
発行・編集：(社) 実践教育訓練研究協会 広報委員会
JISSEN NEWS 2013 春(No.179)
